

令和

1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

| | | | | | | | |
|-----------------|---|------------------------|---|------|-----|--------------|---------------------|
| 事務事業名 | 避難行動要支援者支援事業 | 会計名称 予算科目 | 一般会計 2 款 1 項 13 目 | 事業番号 | 486 | 担当課 所属長名 | 危機管理課 新田亮仙 |
| 事業評価の有無 | ■ 評価対象事業 | □ 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ) | | | | 担当責任者名 | 神東利明 |
| 法令根拠等 | 災害対策基本法、伊予市避難行動要支援者避難支援全体計画 | | | | | 実施期間 【開始】 | 令和／平成 29 年度 |
| 総合計画での位置付け | 快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり | | | | | 【終了】 | 令和 年度(予定) ■ 設定なし |
| 総合計画における本事業の役割 | 防災意識の向上対策の推進 地域で支え合う体制や風土づくり | | | | | | |
| 事業の対象 | 全市民 | 事業の目的 | 平常時から避難行動要支援者に関する情報の把握や、関係者との共有並びに情報伝達体制及び避難誘導体制を整備し、災害時等に自ら避難することが困難な避難行動要支援者の安全を確保する。 | | | | |
| 事業の内容 (整備内容) | ・避難行動要支援者の把握と名簿作成 ・登録申請（同意）者の増加啓発 ・避難支援者の協力啓発 ・避難支援等関係者による活用啓発 ・避難行動要支援者名簿の活用 | 昨年度の課題に対する具体的な改善策 | 防災啓発事業等での市民への啓発に努めた。他部署と連携し、個別のケースの相談について、助言をおこなった。 | | | | |

事業活動の内容・成果 (DO)

| 事業費及び財源内訳（千円） | | | | | | | 事業活動の実績（活動指標） | | | | | | |
|-------------------------|-----------|--|-------|--------|---------|------------------|----------------------------------|-------|--------|-------|--------|-------|--|
| 項目 | 前年度決算 | 当初予算額 | 補正予算額 | 継続費その他 | 翌年度繰越 | 決算額 | 項目 | 単位 | 前年度実績 | 1年度予定 | 9月末の実績 | 1年度実績 | |
| 直 接 事 業 費 | 15 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | 個別計画策定者数 | 人 | 874 | 850 | 857 | 857 | |
| 国 庫 支 出 金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 県 支 出 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 地 方 債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 一 般 財 源 | 15 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 職員の人工（にんく）数 | 0.29 | 0.20 | | | | 0.20 | | | | | | | |
| 1人工当たりの入件費単価 | 7,982 | 7,992 | | | | 7,992 | | | | | | | |
| ※ 直接事業費+入件費 | 2,330 | 1,635 | | | | 1,598 | | | | | | | |
| 主な実施主体 | 伊予市 | 実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄） | 直接 | | | | | | | | | | |
| 向こう5年間の直接事業費の推移 (千円) | | | | 2 年度 | 3 年度 | 4 年度 | 5 年度 | 6 年度 | 5年間の合計 | | | | |
| 成 果 指 標 | 指 標 | 個別計画策定者数 | | | 単位 人 | 区分年度 目標 実績 | 前 年 度 | 1 年 度 | 2 年 度 | 目 標 | 每 年 度 | | |
| | 指標設定の考え方 | 個別計画策定数は、新規登録による増加分と、転出や死亡等による減少分が関連していることから、前年度個別計画策定者数を基本に、当該年度策定者数を見る事が推進度を測る指標として適当であると判断する。 | | | | | 900 | 850 | 850 | 850 | | | |
| | | | | | | | 874 | 857 | | | | | |
| | 指標で表せない効果 | 避難支援者が登録されていない個別計画も多く、実際の避難支援充実度は、個別計画の数だけでは表現されない。 | | | | | | | | | | | |

事務事業評価（CHECK）

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---------|--|--------------|--|---|---|---|-------------|--|--|--|--|
| 新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過） | | 対象者の死亡などにより、登録人数の減少が見られる。防災啓発時に説明することとし、それにより、登録・修正の申請は見られる。 | | | | | | | | | | |
| 事務事業の評価 | 事務事業の評価 | 妥当性 | 目的の妥当性 | 5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。 | 5 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | S | 事業成果・工夫した点 | 健康増進課と連携し、重篤な要支援者の事案について対応した。 | | | |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理業務に対応しておらず、見直しが必要である。 | 5 | | | | | | | |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 | 5 | | | | | | | |
| | | 有効性 | 事業の効果 | 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 市民生活や行政内部の課題解決にならない。 | 5 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | S | 事業の苦労した点・課題 | 今後、新規対象者への案内や市民福祉部との連携強化等がカギになってくると思われる。 | | | |
| | | | 成果向上の可能性 | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 | 4 | | | | | | | |
| | | | 施策への貢献度 | 5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 施策推進につながっていない。 | 5 | | | | | | | |
| | | 効率性 | 手段の最適性 | 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。 | 5 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | S | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 減災対策に直結する事業である。 | | | |
| | | | コスト効率 | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 5 | | | | | | | |
| | | | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 | 5 | | | | 所属長の課題認識 | | | |
| | | 一次判定～所属長～ | 目的の妥当性 | 5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。 | 5 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 所属長の課題認識 | 避難行動要支援者支援個別計画の新規登録と既存計画の充実を強力に推進するため、市民や避難支援等関係者及び庁内関係部署との連携を強める。 | | | |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理業務に対応しておらず、見直しが必要である。 | 5 | | | | | | | |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 | 3 | | | | | | | |
| | | | 事業の効果 | 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 市民生活や行政内部の課題解決にならない。 | 3 | | B | A | 所属長の課題認識 | | | |
| | | | 成果向上の可能性 | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 | 3 | | | | | | | |
| | | | 施策への貢献度 | 5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 施策推進につながっていない。 | 3 | | | | | | | |
| | | | 手段の最適性 | 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。 | 3 | | A | A | 所属長の課題認識 | | | |
| | | | コスト効率 | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 3 | | | | | | | |
| | | | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担は適正と認める。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 | 4 | | | | | | | |

| | | | |
|---|------------------|--|---|
| 施 策 を 踏 ま え た 判 断 | 二 次 判 定 | <input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 | <p>⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p> |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 | |
| | | <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 | |
| | | <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | |
| | | <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | |
| | | <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | |
| | | <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。 | |
| | | | |
| | | | |

| | | |
|------------|------------------|-------|
| 行政評価委員会の答申 | 外 部 評 価 | 答申の内容 |
|------------|------------------|-------|

今後の方針性（ACTION）

| | | |
|----------------------------------|--|-------|
| の経 最 終 者 判 会 議 | 事業の方向性 | コメント欄 |
| | <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。 | |